

デーリー東北  
2021年(令和3年)5月30日(日曜日) (14)

# 東北文化奨励賞受賞

## 南部菱刺しに関する研究活動

八工大・川守田准教授

八戸 八戸工業大感性デザイン学部創生デザ

イン学科の川守田礼子准教授が、東北が生み出した先見性のある文化を体系化して発信する、優れた活動に対して贈られる「第3回インテリジェント・コスモス東北文化

奨励賞」に選ばれた。10年前から、青森県南地方に伝わる「南部菱刺し」に関する研究活動を進めている。「これからも菱刺しの魅力を裏付けられるような研究を続けたい」と、さらなる意欲を見せる。

(小林彩乃)

### 「東北の伝統工芸再評価」

同賞は、東北地方における自然科学や国際的研究に関する助成を行う「インテリジェント・コスモス芸術振興財団」(仙台)が主催。これまで、川守田准教授は文献調査や製作者への聞き取りの

に菱刺しの魅力を伝えている。菱刺しは、現段階では津軽地方のこぎん刺しに比べて知名度が低く、経済的な基盤も整備されていない。製作者の高齢化も進む中で活動を記録として残し、手仕事を未来につなげようと、研究を進めてきた。

今回は、一連の活動が「東北の伝統工芸が再評価され、作品が増えれば、社会的効果も高い」と認められ、受賞が決まった。

川守田准教授は「製作者の方々の思いが、大きなモチベーションになっている」と話し、「これからも地域の皆さんに共感してもらえるような研究ができた」と前を見据える。

表彰式は9月に仙台市で行われる予定。



南部菱刺しに関する研究でインテリジェント・コスモス東北文化奨励賞に輝いた川守田礼子准教授

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。